

環境色彩研究会

Special Interest Group on Environmental Color

<https://color-science.jp/environment/labnews/>

主査 萩原 京子 (サンスター技研㈱)

e-mail: cmyk7rgb6@gmail.com

環境色彩を真摯に粘り強くそして楽しく研究しています。ご参加をお待ちしています。

◆研究内容や研究会の構成

環境色彩研究会主催の見学会を振り返ります。

- 1984年度 横浜郵便集局
- 1988年度 東京サレジオ学園他
- 1990年度 ベルコリース南大沢
- 1993年度 川崎市東芝科学館
- 1994年度 東京都庭園美術館 雅叙園ホテル
- 1995年度 谷中カラーウォッチングツアー
- 1997年度 街の色診断 小江戸川越
- 1998年度 沖縄の色 見学ツアー
- 1999年度 まちの色診断 土地の記憶発見 in 松戸
- 2001年度 横浜港色彩計画と中華街の色を観る
- 2002年度 最上川舟運で賑わった紅花と雛の色を訪ねる
- 2003年度 江戸の染めを見る・染色工房
- 2005年度 旧岩崎邸見学
- 2008年度 浅草三丁目研究調査
- 2009年度 常滑, INAXライブミュージアム
- 2010年度 自由が丘の調査見学
- 2011年度 自由が丘の調査見学「自由が丘はなぜ、魅力的か～駅前
の景観要因の調査～」
- 2012年度 USJ 見学会／妙見宮例大祭観賞と廣徳寺見学
- 2013年度 「大正から昭和の色を探して」大田区文士村
- 2016年度 「伝統的街並み景観を学ぶ」重要伝統的建造物群保存
地区奈良県今井町
- 2017年度 茅葺屋根の「大内宿」と、大正浪漫ただよう「七日町通り」
から町並みづくりの取組みと、地域の彩りの役割を学ぶ
- 2019年度 日本に於ける都市デザインの先進事例『横浜の景観・
歴史・文化から独自の景観まちづくりを学ぶ』

◆2021年度の活動報告

1. 試験的WEBミーティング

- 2021年9月29日、「環境色彩研究会の見学会で行きたいところ」,
萩原京子
- 2021年12月2日、「社会問題である空家等の再生に係るまち並み
の色彩」伊藤幸
- 2022年1月25日、「改めて地域の色を考えてみませんか地元の色を
あなたご自身で探してみましょう。」, 杉山朗子

2. 令和3年度秋の研究会句間参加 2021年11月27日

3. 研究発表会(オンライン開催) 2022年2月26日

- ・「景観の色彩調査による景観色彩の保全・成田山新勝寺参道を
例に」, 永田泰弘
- ・「景観の色彩調査による景観色彩の保全・ジョンソントウンを例
に」, 渡邊裕美
- ・「おだやかな景観の先にあったゆるやかな統一感溢れるジョンソ
ントウン」, 中西利恵
- ・「千葉ニュータウンの色彩&素材の変遷研究序論」, 杉山朗子
- ・「赤錆色にみる西桜島地区の景観色彩」, 江良心利
- ・「ルイス・バラガンの「感情的建築」思想と地域的色彩の分析-バ
ラガン自邸を事例として-」, 東俊一郎



大内宿ねぎそば

2017年度見学会「茅葺屋根の「大内宿」と、大正浪漫ただ
よう「七日町通り」から町並みづくりの取組みと、地域の
彩りの役割を学ぶ」にて

◆2022年度の活動計画

1. 試験的WEBミーティング (4回程度)

今年度も環境色彩に関する話題を話し合う
WEB ミーティングを企画してみました。コロ
ナで活動が制限される中、苦肉の策での活動で
したが、WEBを利用した新しい環境色彩研究
会の行事として定着しつつあります。話題提
供: 15～30分, 懇談会: 60～90分程度, 少人
数で実施いたします。

今年度も魅力的な話題をご用意しています。

2. 見学会

自粛していた見学会を再開します。大人数で
の見学会は難しいので、少人数での見学、参加
者が集まったのオンライン報告会という形式で
実施します。オンライン報告会には、見学会に
出席されなかった方の参加も歓迎します。

3. 研究発表会

年に一度、当該年度の研究成果を発表してい
ます。2021年度、2020年度はオンライン開催で
したが、今年度はリアル会場とオンラインのハ
イブリット開催を目指しています。長年環境色
彩研究会にて研究活動及びご指導をいただいた
日原もとこ先生(2022年3月ご逝去)の追悼講
演会も予定しております。